

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
南富良野町の結果について

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査対象学年

- 町内小学校第6学年の児童、町内中学校第3学年の生徒 原則として全児童生徒

3. 調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習習慣、規範意識などに関する調査 (例)「国語・算数の勉強は好きですか」「自分で計画を立てて勉強していますか」「学校のきまりを守っていますか」「読書は好きですか」など | 指導方法、地域との連携、教員研修、カリキュラムなどに関する調査 (例)「発展的な学習の指導を行っているか」「講師を招聘するなど校内研修を行っているか」「学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有しているか」など |

4. 調査の期日 平成31年4月18日（木）

5. 調査を実施した学校・児童生徒数（全国悉皆調査）

| | 実 施 率 | 参加児童数 | 参加生徒数 |
|----------|-------|------------|----------|
| 全国（公立） | 99.7% | 1,028,203人 | 938,888人 |
| 全道（公立） | 99.7% | 38,837人 | 37,859人 |
| 南富良野町 全校 | 97.0% | 12人 | 20人 |

II 調査の結果

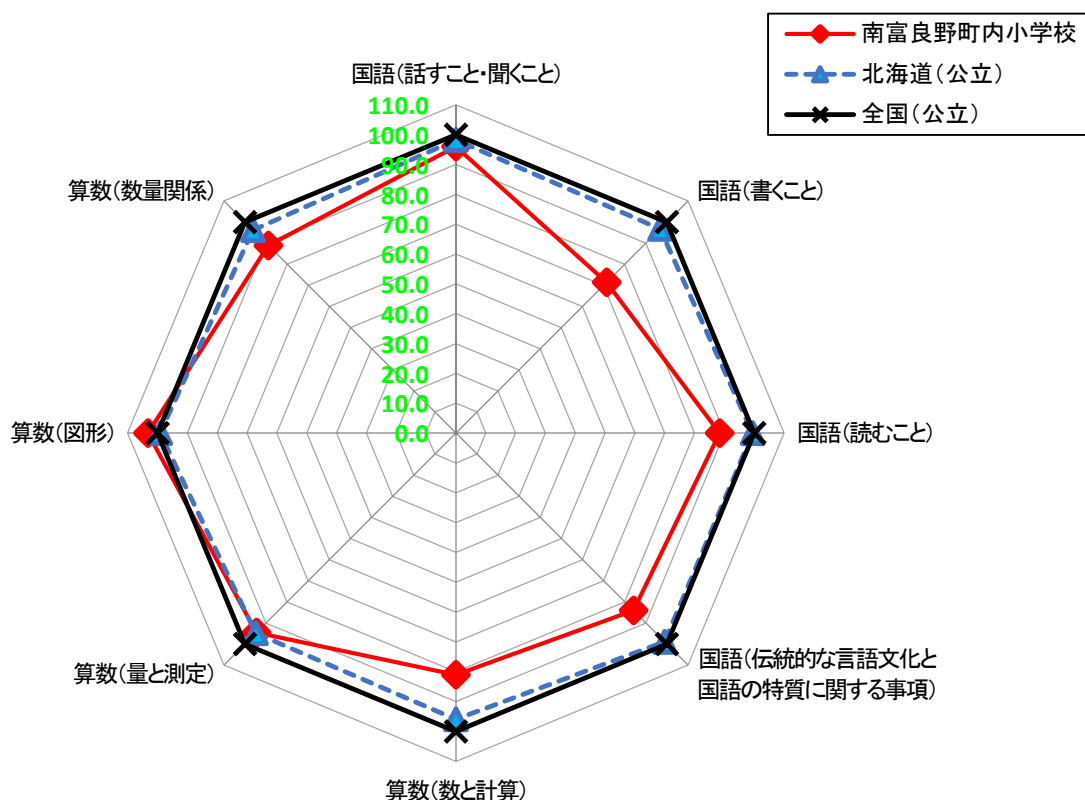
本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

1. 児童生徒の学力の状況について

(1) 小学校（平均正答率）

| 教科 | 全道平均 | 全国平均 | 南富良野町 | 全国との比較 |
|----|------|------|-------|--------|
| 国語 | 62.8 | 63.8 | 54.8 | ↓ 9.0 |
| 算数 | 64.5 | 66.6 | 58.9 | ↓ 7.7 |

| | 国語 (話すこと・ 聞くこと) | 国語 (書くこと) | 国語 (読むこと) | 国語 (伝統的な言 語文化と国 語の特質に 関する事項) | 算数 (数と計算) | 算数 (量と測定) | 算数 (図形) | 算数 (数量関係) |
|---------|-----------------------|--------------|--------------|------------------------------------------|--------------|--------------|------------|--------------|
| 全国（公立） | 72.3 | 54.5 | 81.7 | 53.5 | 63.2 | 52.9 | 76.7 | 68.3 |
| 北海道（公立） | 71.0 | 52.7 | 81.2 | 52.9 | 60.6 | 50.2 | 76.0 | 65.7 |
| 町内小学校 | 69.4 | 38.9 | 72.2 | 45.0 | 51.2 | 50.0 | 79.2 | 60.7 |



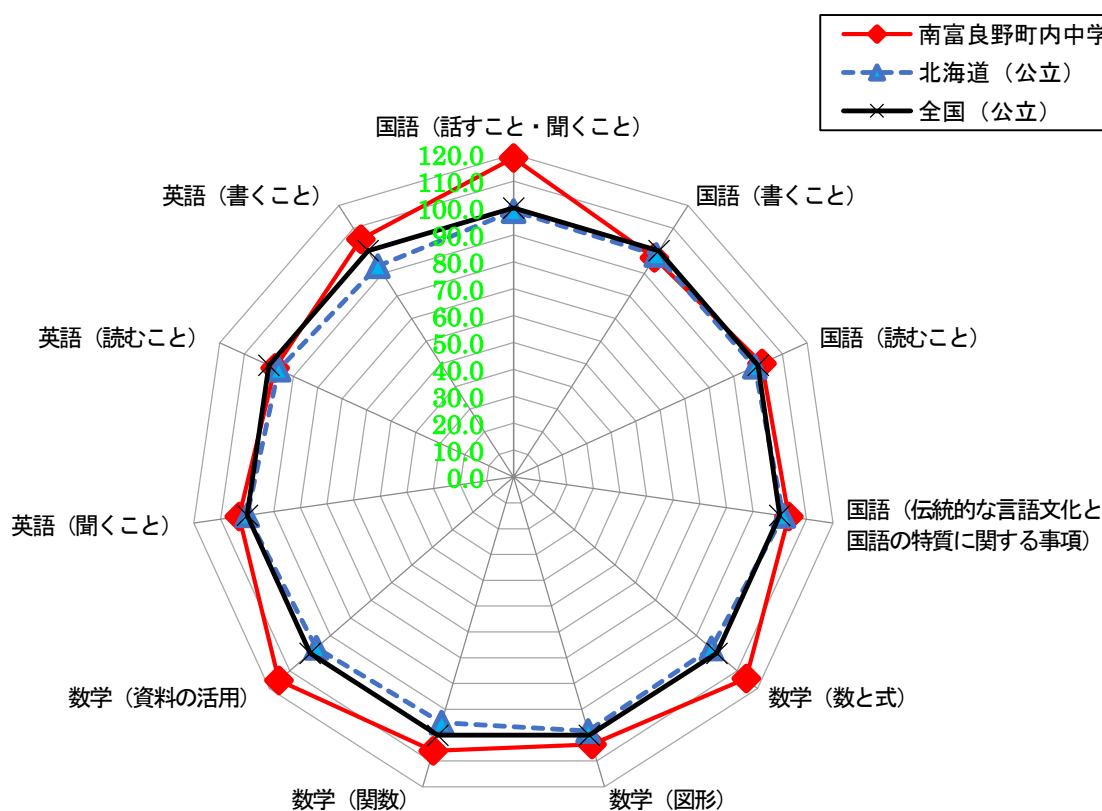
小学校は、国語・算数とも全国平均正答率を下回っている。

国語では、「話すこと・聞くこと」で全国平均正答率に最も近くなっているが、「書くこと」が苦手な傾向にある。算数では、「図形」で全国平均正答率を上回っているが、「数と計算」は特に全国平均正答率を大きく下回っている。

(2) 中学校 (平均正答率)

| 教科 | 全道平均 | 全国平均 | 南富良野町 | 全国との比較 |
|----|------|------|-------|--------|
| 国語 | 72.1 | 72.8 | 77.0 | ↑ 4.2 |
| 数学 | 58.1 | 59.8 | 66.0 | ↑ 6.2 |
| 英語 | 54.0 | 56.0 | 57.0 | ↑ 1.0 |

| | 国語 (話すこと・聞くこと) | 国語 (書くこと) | 国語 (読むこと) | 国語 (伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項) | 数学 (数と式) | 数学 (図形) | 数学 (関数) | 数学 (資料の活用) | 英語 (聞くこと) | 英語 (読むこと) | 英語 (書くこと) |
|---------|-------------------|--------------|--------------|----------------------------------|-------------|------------|------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 全国(公立) | 70.2 | 82.6 | 72.2 | 67.7 | 63.8 | 72.4 | 40.8 | 56.3 | 67.9 | 55.6 | 45.8 |
| 北海道(公立) | 69.4 | 81.1 | 71.2 | 68.6 | 62.1 | 71.2 | 38.8 | 54.6 | 67.9 | 53.4 | 42.7 |
| 町内中学校 | 83.3 | 80.0 | 73.3 | 70.0 | 73.0 | 75.0 | 43.3 | 65.0 | 70.0 | 54.2 | 48.1 |



中学校は、全ての教科について全国平均正答率を上回っている。
 国語では、「書くこと」が、やや全国平均正答率を下回っている。数学では、全て全国平均正答率を上回っている。英語では、「読むこと」「書くこと」が苦手な傾向にある。

2. 児童生徒質問用紙の傾向について

※共通質問69項目のうち、「生活習慣の基本に関わるもの」「家庭と学校の連携が必要なもの」を抜粋しています。

※網掛けは、全国平均より高い結果を表しています。

※数字は%、「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な割合の合計です。

(1) 家庭での生活・学習について

| 質問事項 | 全国 | 小学校 | 全国 | 中学校 |
|-------------------|------|-------|------|-------|
| 朝食を毎日食べている | 95.3 | 100.0 | 93.1 | 100.0 |
| 毎日、同じくらいの時刻に寝ている | 81.4 | 83.3 | 78.0 | 95.0 |
| 毎日、同じくらいの時刻に起きている | 91.6 | 91.7 | 92.8 | 90.0 |
| 家の人に学校の出来事を話す | 77.4 | 75.0 | 76.4 | 80.0 |
| 家で、計画を立てて勉強している | 71.5 | 83.3 | 50.4 | 70.0 |

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（学習塾でしている時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

| | 3時間以上 | 2時間～3時間 | 1時間～2時間 | 30分～1時間 | 30分～ | 全くしない |
|-----|-------|---------|---------|---------|------|-------|
| 全国 | 12.4 | 16.9 | 36.8 | 24.1 | 7.6 | 2.3 |
| 小学校 | 0.0 | 8.3 | 41.7 | 50.0 | 0.0 | 0.0 |
| 全国 | 9.9 | 25.6 | 34.3 | 17.2 | 8.4 | 4.4 |
| 中学校 | 0.0 | 15.0 | 50.0 | 20.0 | 5.0 | 10.0 |

家庭での生活・学習について、小学校・中学校ともに基本的な生活や家庭での学習習慣が身につけている。小学校は学校の授業時間以外の勉強時間が1時間未満が半数を占めており、中学校では全く勉強しない生徒が存在する。

(2) 学校での生活・学習について

| 質問事項 | 全国 | 小学校 | 全国 | 中学校 |
|-------------------|------|-------|------|-------|
| 学校のきまりを守っている | 92.3 | 91.6 | 96.2 | 100.0 |
| 国語の勉強は好き | 64.2 | 75.0 | 61.7 | 50.0 |
| 国語の授業の内容はよく分かる | 84.9 | 100.0 | 77.6 | 80.0 |
| 算数・数学の勉強は好き | 68.6 | 58.4 | 57.9 | 50.0 |
| 算数・数学の授業の内容はよく分かる | 83.5 | 83.3 | 73.9 | 90.0 |
| 英語の勉強は好き | | | 56.0 | 55.0 |
| 英語の授業の内容はよく分かる | | | 66.0 | 55.0 |

「学校のきまりを守っている」で、小学校は全国平均よりも低い結果となっている。学習では、小学校では「国語の勉強は好き」「国語の授業の内容がよく分かる」、中学校では「国語・数学の授業の内容がよく分かる」が全国平均より高い結果となっている。

(3) 関心・意欲・態度等について

| 質 問 事 項 | 全国 | 小学校 | 全国 | 中学校 |
|---------------------------|------|-------|------|-------|
| 自分には、よいところがあると思う | 81.2 | 83.3 | 74.1 | 90.0 |
| 新聞を読んでいる | 19.0 | 16.7 | 12.7 | 15.0 |
| いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 97.1 | 100.0 | 95.1 | 100.0 |
| 人の役に立つ人になりたい | 95.2 | 100.0 | 94.3 | 90.0 |
| 将来の夢や目標を持っている | 83.8 | 83.4 | 70.5 | 65.0 |

小学校・中学校ともに「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と全員が答えている。

小学校では、全国平均を上回っているか全国平均に近い結果となっているが、「新聞を読んでいる」については、全国平均よりも低くなっている。

中学校では、全国平均を上回っているか全国平均に近い結果となっているが、「人の役に立つ人になりたい」「将来の夢や目標を持っている」については、全国平均よりも低い結果となっている。

また、地域や社会で起こっている問題や出来事に全国平均よりも関心がある一方、テレビニュース番組やインターネットのニュースは全国平均より関心が低い結果となっている。

(4) 読書について

◇学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

| | 2時間以上 | 1時間～2時間 | 30分～1時間 | 10分～30分 | 10分以下 | 全くしない |
|-----|-------|---------|---------|---------|-------|-------|
| 全 国 | 7.0 | 11.3 | 21.5 | 25.9 | 15.6 | 18.7 |
| 小学校 | 8.3 | 8.3 | 16.7 | 25.0 | 25.0 | 16.7 |
| 全 国 | 4.8 | 7.6 | 14.6 | 23.4 | 14.8 | 34.8 |
| 中学校 | 5.0 | 5.0 | 20.0 | 55.0 | 5.0 | 10.0 |

小学校・中学校ともに読書時間が30分以下の割合が7割程度となっており、全く読まない割合も高い。全く読まない割合について昨年より小学校では3.3%、中学校では17.3%減っており、読書をする機会が増えている結果となっている。

Ⅲ 課題と今後の取組

1. 小学校

○課題

- ・国語「書くこと」「読むこと」について、全国平均正答率よりも10%程度低い。
- ・50%の児童が授業以外の学習時間が1時間以内である。
- ・南富良野町全体で取り組んでいる全員活躍型授業の成果により、「よくわかる」が国語は100%、算数は83.3%と高い数値となっているが、いずれも全国平均正答率を下回っている。

○今後の取組

- ・1人一冊の本を机の中に常備し、いつでも読書できる環境をつくり、文章に触れる機会を増やす。
- ・朝学習や放課後学習に音読集を使って音読に取り組むことで、文章を素早く読む力を育む。
- ・全校児童で「数と計算」領域の学習プリントに取り組み、数の概念形成や計算力を育む。
- ・学校改善プランを作成し、修正を重ねて学校全体で授業改善に取り組む。
- ・「書くこと」の学習時間の充実を図り、学習のねらいに即して必要な語彙や言葉を習得させる取り組みを行う。
- ・南富良野町学習スタンダードに則り、小規模複式学級に合うスタイルを構築し、実践を行う。
- ・家庭学習について、保護者・児童に呼びかけを行い授業だけでなく予習・復習を行うようPTA等の会議で提起のうえ、実践するよう周知する。
- ・児童どうしの学び合い及び教師との学び合いを大切にし、一方的に伝えるのではなく伝え合うことを大切にした「対話的な学び」の実践を図る。

2. 中学校

○課題

- ・全ての教科について全国平均正答率を上回っているが、英語の「読むこと」については全国平均正答率よりも若干低くなっており、英語の「書くこと」を含め正答率が低い。
- ・昨年よりも授業以外の学習時間が増えているが、その一方で全くしない生徒も存在する。

○今後の取組

- ・引き続き外部講師による学力向上講習を実施する。
- ・土曜授業・学力チャレンジデーを設定し、基礎的・基本的な内容の更なる定着を図る。
- ・教員及び学習支援員による放課後学習（個別学習）を実施する。
- ・eライブラリアドバンスの活用を一層推進し、家庭での利用について啓発を行う。

Ⅳ 家庭へのお願い

1. お子さんが望ましい生活習慣や学習習慣を身につけるため、積極的にお子さんと会話するなど、現状の把握に努めましょう。
2. テレビやビデオ、DVDの視聴やテレビゲーム、インターネット等に費やす時間については、各家庭でお子さんと話し合い、少しずつ減らしていきましょう。
3. 家庭学習は、学年×10分+10分取り組ませましょう。

学校での授業内容を定着させるには、学年×10分+10分の家庭学習が必要です。勉強する時間を決めて取り組むことのできる環境を親子で一緒につくりましょう。

(中学1年生は80分、中学2年生は90分、中学3年生は100分になります。)